

Fuck you! 六条御息所は源氏物語でも強い存在感を与えていて、それが主に「え〜だってライバルの女殺しちゃうんでしょ〜、こっわ〜」って形なのが私の中で結構 **fuck** である。決して御息所は豪胆と言う意味で強い女性ではない。源氏について悩んでいたら、その悩みや嫉妬が心から溢れだしていて人を殺してしまうかよわい女性なのだ。立場もあり聡明な女性が嫉妬に狂ったからと言って意図的に人を殺そうとするわけがなく、それでも自分がそうになっていたことから源氏だけでなく自己価値まで損なってしまう。しかし、彼女は生きたのだ。愛した人と自分に見捨てられた事実と絶望を抱えて人生を食いつぶされてもなお、そこが彼女の心の強さなのだ。